

新登場

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

ブイゲット®

バイツン® EV

粒剤



高密度播種
対応

いもち病、紋枯病、 水稻初期害虫を 同時に防除!



いもち病



紋枯病



イネミスゾウムシ



イネドロオイムシ

大黒様と米づいり

箱処理はこれで決める。

水稲育苗箱用 殺虫殺菌剤

ブイゲット® バイソンEV 粒剤

有効成分

チアクロプリド…1.0% **殺虫剤分類 4A**
 チアジニル…12.0% **殺菌剤分類 P3**
 ペンフルフェン…2.0% **殺菌剤分類 7**

安全性

普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)

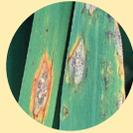
特長

- 育苗箱処理により、いもち病、紋枯病、水稲初期害虫(イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ)を同時防除できます。
- 緑化期～移植当日処理、移植時の側条施用、高密度は種など、幅広い使用場面で施薬可能です。

ブイゲット(チアジニル)

いもち病

稲の病害防御機能を
増強し、安定した効果
を発揮



チアクロプリド

水稲主要害虫

イネミズゾウムシ、イネドロオ
イムシに対して高い防除効果と
優れた効果持続性を発揮



ペンフルフェン

紋枯病

浸透移行および残効性に優れ、
イネに対する安全性が高く、
イネ紋枯病の防除に有効



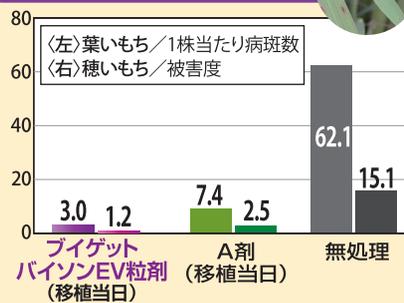
適用病害虫および使用方法

2024年3月現在の登録内容

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の 使用 回数	使用方法	チアクロプリド を含む農薬の 総使用回数	チアジニル を含む農薬の 総使用回数	ペンフルフェン を含む農薬の 総使用回数
稲箱育苗	いもち病 紋枯病 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	緑化期 ～ 移植当日	1回	本剤の 所定量を 育苗箱の 上から 散布する	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布は 2回以内)	1回
		高密度には種する場合は1kg/10a 育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50～100g	移植当日					
稲	いもち病	1kg/10a	移植時		側条施用		3回以内 (直播では種時又は 移植時までの処理は 1回以内、本田での 散布は2回以内)	

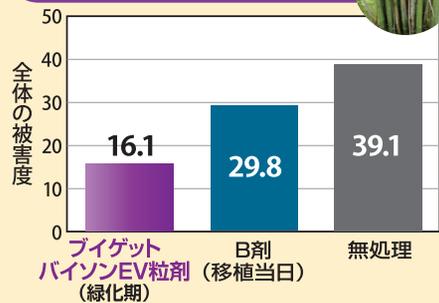
試験成績

いもち病



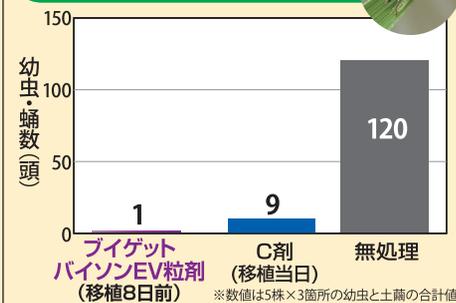
※(葉いもち)1株あたりの病斑数(平均値)、(穂いもち)30株全穂あたりの被害度(平均値)
 試験場所:日本植物環境コンサルティング株式会社(J-pec/長崎県)(2020年)
 品種:なつほのか 移植:6/8 出穂期:8/18 処理:6/8(移植当日)
 調査:葉いもち 7/31(移植53日後) 穂いもち 9/13(移植97日後)
 発生状況:葉いもち 甚発生 / 穂いもち 中発生

紋枯病



※(葉いもち)1株あたりの病斑数(平均値)、(穂いもち)30株全穂あたりの被害度(平均値)
 試験場所:山形県農業総合研究センター(2020年)
 品種:はえぬぎ 移植:5/18 出穂:8/3
 処理:ブイゲットバイソンEV粒剤 5/2(緑化期)、B剤 5/18(移植当日)
 調査:9/11(出穂39日後) 発生状況:中発生(接種)

イネミズゾウムシ



※数値は5株×3箇所の幼虫と土壌の合計値
 試験場所:日本植物環境コンサルティング株式会社(J-pec/長野県)(2020年)
 品種:コンヒカリ 移植:6/1
 処理:ブイゲットバイソンEV粒剤 5/24(移植8日前処理)
 C剤 6/1(移植当日処理)
 調査:7/17(移植46日後) 発生状況:中発生

注意事項

- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
- 稲の葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布してください。
- 側条施用する場合は、粒剤が均一に散布できる施用装置を装着した田植機を使用してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾物として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じるおそれがあるので、代かきはしていけないに行い、移植後に田面が露出しないよう注意してください。
- さく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。
- 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の受診を受けてください。
- 皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 使用の際は農業用マスク、手袋、長スボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(魚類)に影響を及ぼすので、養魚田では使用しないでください。また、本剤を使用した苗は養魚田に移植しないでください。
- 使用後は河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。

レイミーの農薬チャットルーム

ホームページに遊びにきてね!



日農ホームページ



NICHINO
日本農薬株式会社

東京都中央区
京橋1丁目
19番8号

TEL:0570-09-1177 URL:https://www.nichino.co.jp/
2024年3月作成版(SPA)JF12403S